

【公開資料】

審査基準

1. 一次審査による審査項目

1	企画提案書による評価		内容
1	会社情報	経営状況	経営状況は良好であるか
2	業務実績	業務実績	地方公共団体及び企業への導入実績は十分であるか
		事業理解度・業務スケジュール	本業務の趣旨、現状と課題は理解し、円滑に業務を進めることができるか。役割分担が明確であるか
3	利用者の利便性	認証連携方法・多言語対応	端末等との認証連携方法、多言語の利用方法は適切か
		災害時対応	災害発生時における利用方法の対策は適切か
		アクセスポイントの範囲	快適にできる範囲の周波数、また最新のLAN規格であるか
4	整備機器の性能	アクセスポイント機器の性能	アクセスポイント毎の接続試験・測定の実施は可能か
		通信回線・通信速度および同時接続数	通信回線のおよび通信速度、利用者の端末同時接続の制限は適切か
		機器品質の確保・対策	電波干渉対策・塩害対策等野外における品質の確保・対策は適切か
5	セキュリティ	セキュリティ対策	有害サイトへのアクセス制限、情報管理等(個人情報)の対応は適切か
		アクセスログ解析対応	フィルタリング機能等アクセスしたログの解析は行えるか
6	運用・保守体制	障害発生時の対応	障害発生時の対応方法は適切か
		運用・保守支援	円滑な運用を実現するための研修・支援・サポートなどバージョンアップへの対応は万全か
7	追加提案	追加する提案	追加提案があればその内容
2	提案価格		
1	提案価格	初期構築費用(イニシャルコスト)	事務局にて計算
	提案価格	運用費用(ランニングコスト)	事務局にて計算

2. プレゼンテーションによる審査

1	プレゼンテーション内容への評価		内容
1	事業理解		本業務の趣旨、現状と課題を理解したうえで説明できているか
2	課題分析		本村通信環境の課題点を十分理解し分析できているか
3	利用者の利便性向上		住民の利用頻度・観光客等へ質の高いサービス提供の仕組みを提案しているか
4	整備環境		通信速度・同時接続数・機器の品質確保は十分に提案できているか
5	機器の品質確保・対策		電波干渉対策・塩害対策等野外で使用する機器の対策は適切か
6	セキュリティの確保		セキュリティの確保の面で優れているか
7	アクセスログ解析の対応		アクセスしたログの解析および活用を行うことができるか
8	サポート		運用後のサポートは充実しているか
9	将来性・拡張性について		本村の将来を見据えて、将来性、拡張性のある性能・機器システムか
2	提案価格		
1	提案価格	初期構築費用(イニシャルコスト)	事務局にて計算
	提案価格	運用費用(ランニングコスト)	事務局にて計算